

2009年度

科目名	生涯発達論		
担当教員	船本 淑恵、岡崎 裕子		
配当	教福1	コード	41170
開期	後期	講時	木曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	生涯にわたる発達のみちすじを知り、発達を支えるものとは何かを考える		
目的と概要	<p>少子・高齢社会を迎え、教育や福祉においては幼児期や児童期といった特定の発達期を学ぶだけでなく、生涯を通じての発達を学ぶことが重要になってきています。発達を長い期間でとらえた時にこそ、子ども時代に必要なことが見えてくるでしょう。また、成長・発達は、その個人だけでなく、家族や社会とのかかわりのなかでとらえる必要があります。</p> <p>そこで、本授業では乳幼児期から老年期にいたる生涯発達のみちすじや、各発達期に含まれる意味、発達と社会との関係を学びます。その学習をとおして、人間の尊厳についても考えていきたいと思えます。講義は、主として教育・心理学的(岡崎)、社会福祉学的(船本)の2つの立場からアプローチします。</p>		
成績評価法	学年末試験、必要に応じて課す小レポートによる総合評価		
テキスト			
参考書	授業の中で随時紹介します。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
1 オリエンテーション 2 発達と教育 発達すること、学ぶこと、教えること、発達の多義性 3 発達段階と発達課題(1) 乳児期 4 発達段階と発達課題(2) 幼児期 4 発達段階と発達課題(3) 児童期 5 発達段階と発達課題(4) 青年期 6 発達段階と発達課題(5) 成年期 7 高齢期について(1) 高齢期の心理的・身体的状況「衰える機能と熟する機能」 8 高齢期について(2) 高齢期に生じる生活不安、介護実態 9 発達と障害 障害の概念、分類 10 発達と障害 福祉、就労 11 個人の発達と家族環境 家族のライフサイクルの中での個人の発達を学ぶ 12 個人の発達と社会環境(1) 個人の発達を支える家族・社会環境 発達の障害と教育的・社会的支援 特別支援教育 13 個人の発達と社会環境(2) 個人の発達を支える家族・社会環境 超高齢社会における高齢期の生活支援体制 14 発達と教育 15 総括			